【証券コード】6301

個人投資家向けイブニングオンライン会社説明会

創立100周年記念活動 こまつの杜リニューアル

国土交通省「宇宙開発利用加速化戦略プログラム」に
コマツの「月面建設機械のデジタルツイン技術構築」が選定

成長戦略とESG課題解決への取り組み

常務執行役員 経営管理部長　森下 正敏

2022年3月11日

目次

1. コマツの概要
2. 中期経営計画　－成長戦略への取り組み－
3. ESG課題解決への取り組み
4. 業績および株主還元について

目次

1. コマツの概要
2. 中期経営計画　－成長戦略への取り組み－
3. ESG課題解決への取り組み
4. 業績および株主還元について

コマツの歴史 ～創業者の精神～

創業者　竹内 明太郎（高知県宿毛市出身）の志

工業冨國基

工業は国を富ませる基なり

人材育成こそが工業冨國基の基本

創業者 竹内 明太郎

- 鉱山機械開発のため小松鉄工所を設立（1917年）
- 1921年5月13日　株式会社小松製作所の誕生

創業の精神は、遺伝子として受け継がれる

～世界に通用する技術を生み出し、世界を相手に勝負する～

◆品質第一　◆技術革新

◆海外への雄飛　◆人材育成

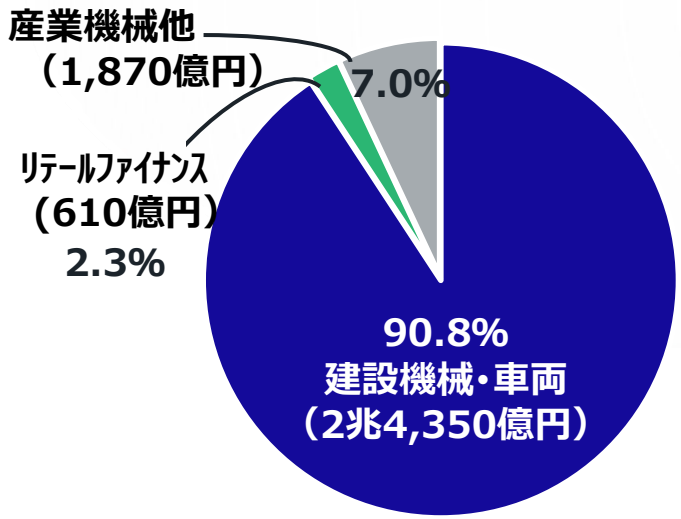
コマツの概要

- 設立　：1921年5月13日
- 連結売上高：2兆6,830億円(2021年度見通し)
- 営業利益　：2,820億円(2021年度見通し)
- 総資産　：4兆273億円(2021年12月末時点)

- 連結子会社　：210(2021年12月末時点)
  （日本）12社　（海外）198社
- 連結従業員数：62,453人(2021年12月末時点)
  社員の約67%は外国籍

事業別の売上高*構成

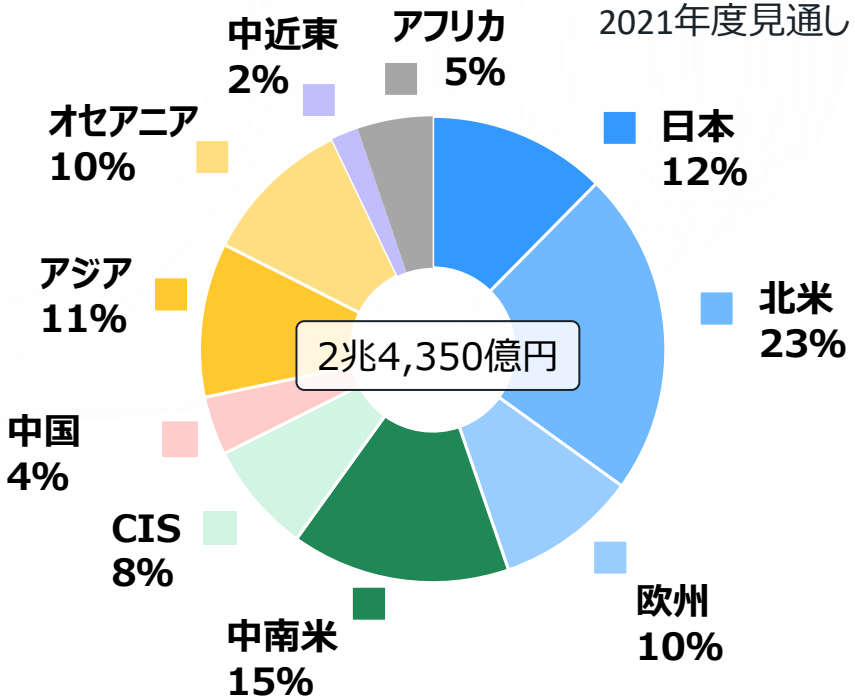
2021年度見通し



*売上高は外部顧客向（セグメント間取引消去後）ベース

建設機械・車両事業の地域別売上高*構成

2021年度見通し



主要商品＜建設･鉱山機械＞

■ 建設･鉱山機械
：世界２位。インフラ開発や都市化の促進。鉱山資源の採掘。

ブルドーザー

油圧ショベル
（クローラー式）

油圧ショベル
（タイヤ式）

ホイールローダー

ダンプトラック

アーティキュレート
ダンプトラック

モーターグレーダー

フォークリフト
（バッテリー式）

主要商品＜コマツマイニング製鉱山機械＞

■ 鉱山機械
：コマツマイニング（旧ジョイ・グローバル社）買収によりラインナップ拡充

＜露天掘り向け鉱山機械＞

ロープショベル

ドラグライン

ドリル

鉱山機械向けシミュレータ
2019年7月に買収した
「イマーシブ社」製

＜坑内掘り向け鉱山機械＞

コンティニュアスマイナー

シアラー

ロードホールダンプ

主要商品＜林業機械＞

■ 林業機械
：木材のサステナブルな活用を支える。近年M&Aを通じ林業機械事業を拡充

ハーベスター

フォワーダー

フェリングヘッド
2018年2月に買収した
「クアドコ社」製

林業機械シミュレータ
2018年4月に買収した
「オリックス・シミュレーションズ社」製

フェラーバンチャー
2019年4月に買収した
「ティンバープロ社」製

ブルドーザーベース
植林機

主要商品＜産業機械･その他＞

■ 産業機械･その他
：自動車業界向け大型プレス･工作機械で世界トップメーカーの一つ。

大型ＡＣサーボプレス
［コマツ産機］

クランクシャフトミラー
［コマツＮＴＣ］

プレスブレーキ
［コマツ産機］

ワイヤーソー
［コマツＮＴＣ］

マシニングセンタ
［コマツＮＴＣ］

半導体露光
装置用光源
［ギガフォトン］

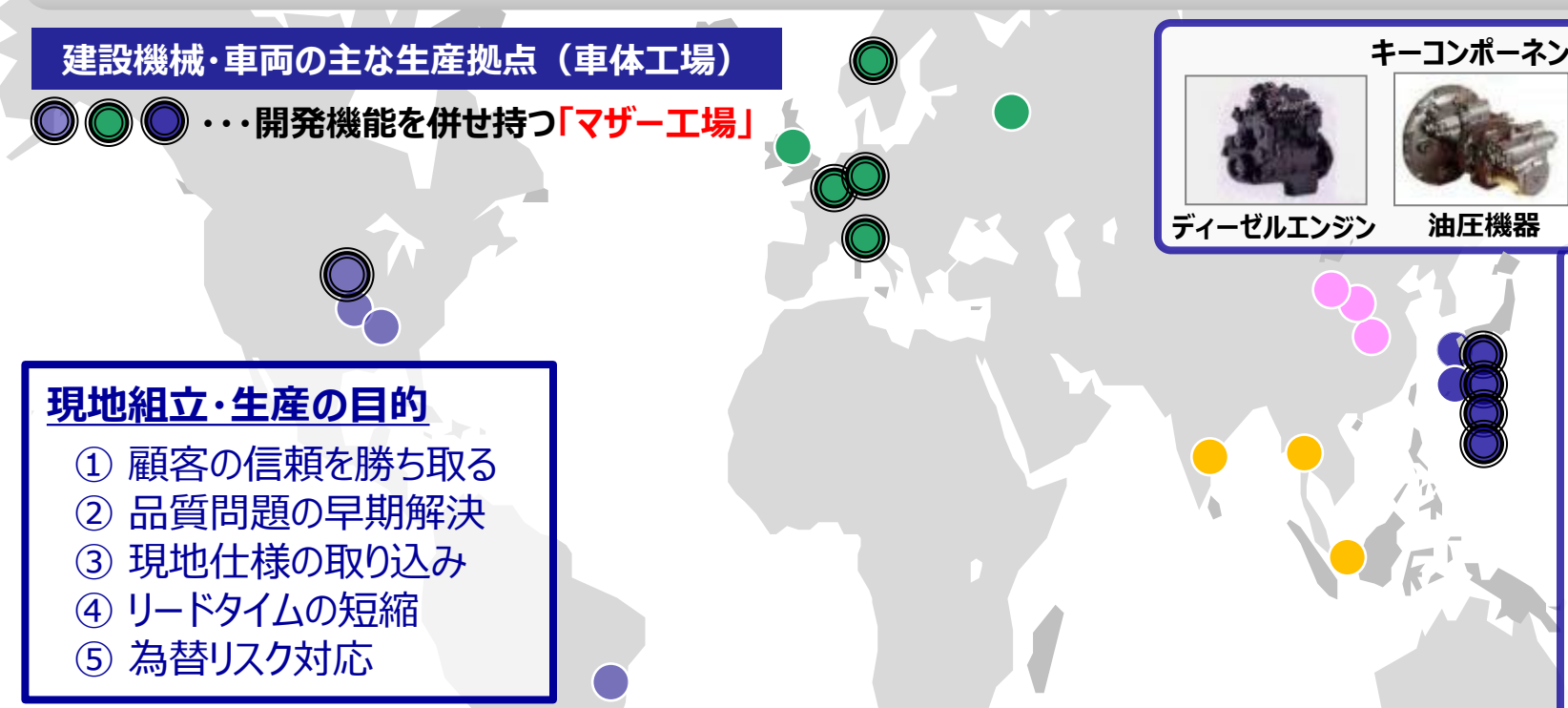
半導体製造用
温度制御機器
［ＫＥＬＫ］

グローバル開発・生産体制

- 開発と生産の一体化：　開発・生産機能を持つ工場＝「マザー工場」
- 主要コンポーネントは日本で開発・生産し、国内で技術革新を生み出す
- 本体の組立は、需要の大きい地域で行う → 海外生産比率65 %(20年度)

建設機械・車両の主な生産拠点（車体工場）

・・・開発機能を併せ持つ「マザー工場」



キーコンポーネント

ディーゼルエンジン

油圧機器

アクスル

ハイブリッドショベルのキーコンポーネント

発電機モーター

旋回電気モーター

キャパシター
*セルを除く

現地組立・生産の目的

① 顧客の信頼を勝ち取る
② 品質問題の早期解決
③ 現地仕様の取り込み
④ リードタイムの短縮
⑤ 為替リスク対応

地域別の生産拠点数　*坑内掘り鉱山機械の現地組立工場を含む

米州	欧州 CIS	中近東 アフリカ	アジア	中国	日本	合計
34(1)	14(4)	1	11	9	12(4)	81(9)

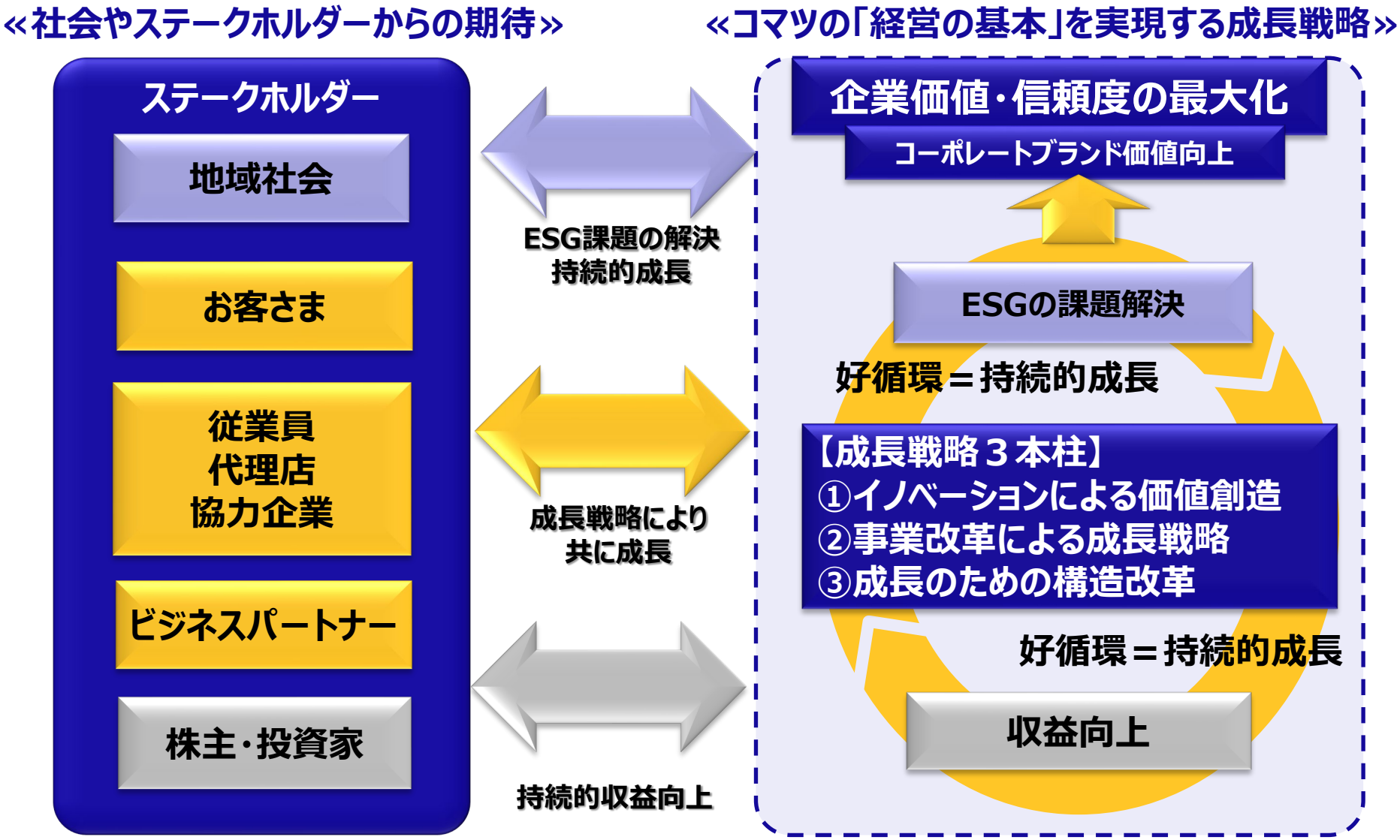
( )内はマザー工場数

海外生産率	2018年度	2019年度	2020年度
	61%	66%	65%

目次

1. コマツの概要
2. 中期経営計画　－成長戦略への取り組み－
3. ESG課題解決への取り組み
4. 業績および株主還元について

中期経営計画の概念・考え方



デジタルトランスフォーメーション(DX)推進による未来の現場の創造

安全で生産性の高いスマートでクリーンな未来の現場

- レベル５ 施工の最適化
- レベル４ 施工計画の自動化
- レベル３ 施工計画の3D化
- レベル２ 地形データの3D化
- レベル１ 設計データの3D化

コト【施工オペレーションの最適化】

現場情報の見える化

施工のデジタルトランスフォーメーション

◆日々最適な施工計画から日々のタスクを自動作成

◆現場にある建機と協調自律化

情報化施工

◆ICT施工・建機

◆進捗の見える化

◆地形情報の活用

高度化建機の登場

従来施工

モノ【機械の自動化・自律化】

- レベル１ 運転支援 限定
- レベル２ 運転支援 範囲拡大
- レベル３ 高度化 単独自動
- レベル４ 高度化 協調自律
- レベル５ 高度化 判断自律

無人ダンプトラック運行システム(AHS：Autonomous Haulage System)

- 2008年**コマツが世界で初めて商用導入**した、鉱山向け無人ダンプトラック運行システム。
- 新型コロナウイルス感染拡大により、無人化オペレーションを実現するAHSの需要は伸長。2021年度は、中期経営計画の目標台数に既に到達し、更なる増加が見込まれる。
- 4か国、16現場にて477台超が稼働中（2021年12月末現在）

決められた走路を走行
【お客様のメリット】
①安全性
②生産性
③環境性

超大型油圧ショベル「PC7000-11」の遠隔操作と
無人専用運搬車両
「Innovative Autonomous Haulage Vehicle」

鉱山機械見本市MINExpo2021でのデモンストレーション

建設・鉱山機械の電動化

➢ 建設・鉱山機械の機種・クラス・地域ごとに様々な方法でアプローチ。

フル・エレクトリック → ハイブリッド/ディーゼル・エレクトリック /フル・エレクトリック

フォークリフト・小型建機

- バッテリー電動
- 有線電動

中・大型建機

- バッテリー電動
- ハイブリッド
- ディーゼル エレクトリック

超大型・鉱山機械（地表）

- バッテリー電動
- 燃料電池
- 有線電動
- ハイブリッド
- ディーゼルエレクトリック
- パワーアグノスティック

鉱山機械（地下）

- バッテリー電動
- ハイブリッド

:実用化済み
:実証実験開始、コンセプト車発表
:研究開発開始

フル電動ミニショベル
21年5月コンセプトマシン発表

電動化マイクロショベル
21年度中量産開始
Hondaと共同開発

20トンクラス油圧ショベル電動化
米国プロテラ社製バッテリーシステム搭載
【実証実験中】
23年～24年量産開始

坑内掘りハードロック向け鉱山機械の電動化
米国プロテラ社製バッテリーシステム搭載
22年度より量産開始

フル電動ミニショベル　テレビCM動画

コンセプトは未来の現場
ゲームのように指先でミニショベルを動かす。そんな時代がやってきます。

林業機械事業

➢ 「持続可能な循環型林業」に貢献するため、
植林・造林、育林、伐採のあらゆる工程の機械化を進めている。

● 植林分野への新商品導入

植林

自動運転植林機
D61EM-23M0

地拵え

地拵え用機械
D85EX サブソイラー

● 伐採、搬出作業の生産性・安全性向上

伐倒

油圧ショベルベースの林業機械
PC130F ハーベスター仕様

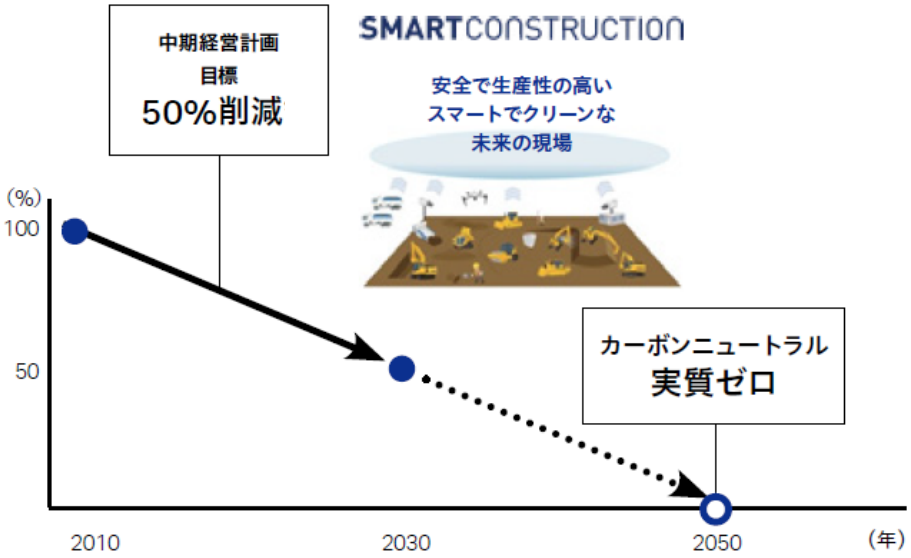
搬出

傾斜地にも対応する集材作業車
フォワーダー895

目次

1. コマツの概要
2. 中期経営計画　－成長戦略への取り組み－
3. ESG課題解決への取り組み
4. 業績および株主還元について

カーボンニュートラルに向けた取り組み



コマツの取り組み

- 生産拠点のカーボンニュートラル
- (モノの改善)環境負荷低減を実現する製品開発
- (コトの改善)お客さまの現場改善を図るソリューション
- 林業機械事業によるCO2削減
- リマン事業によるCO2削減

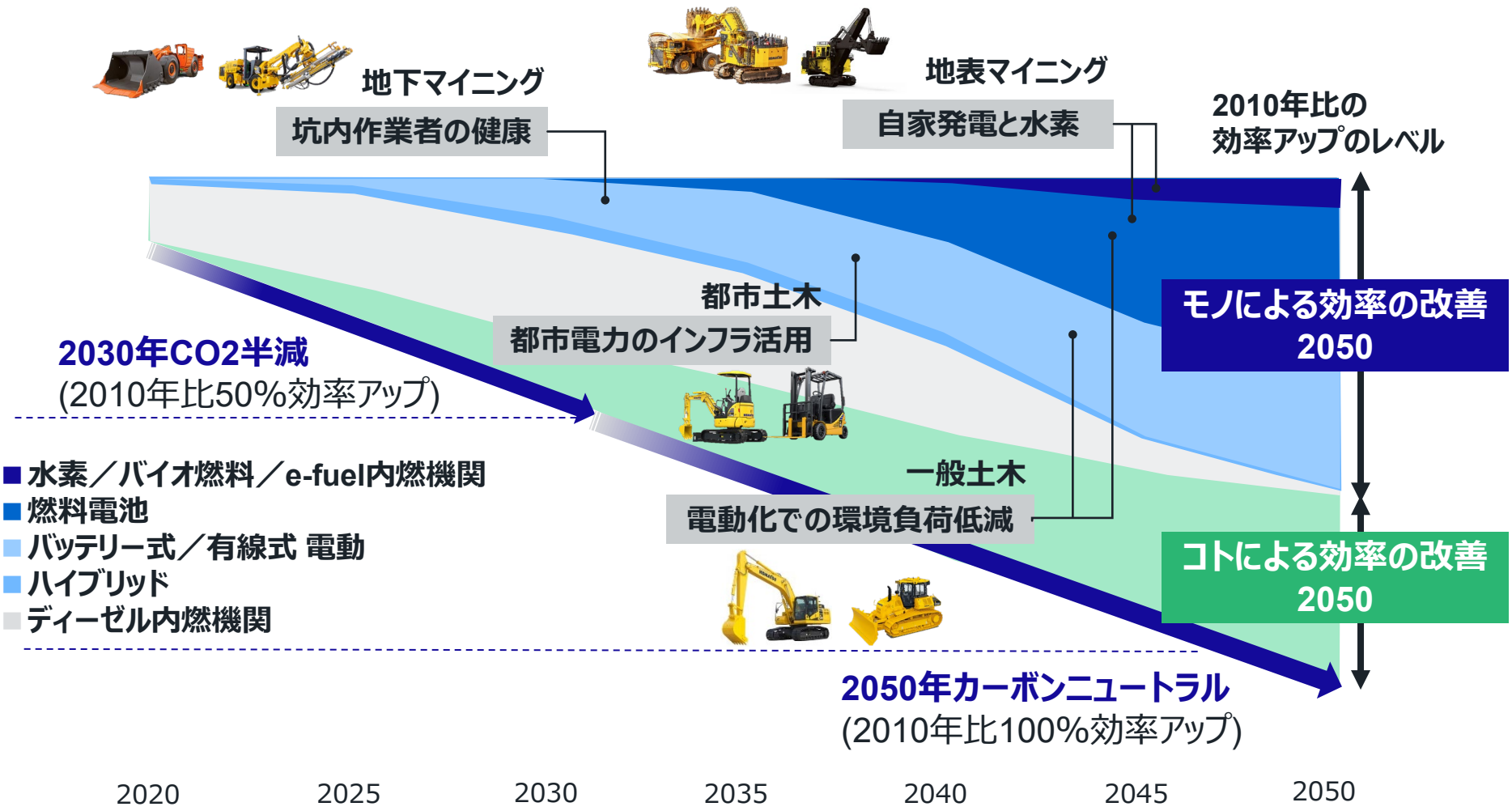
カーボンニュートラルによるビジネス・オポチュニティを見極め、コマツの成長戦略に結びつける。

建設機械のサプライチェーンでのCO2排出量

建設機械のサプライチェーンでのCO2排出量は、
最も高い排出源は「製品使用時」（Scope3カテゴリ11）で、約８～９割を占めている。

環境省：「サプライチェーン排出量の算定と削減に向けて」をもとに作成

カーボンニュートラルに向けたロードマップ



目次

1. コマツの概要
2. 中期経営計画　－成長戦略への取り組み－
3. ESG課題解決への取り組み
4. 業績および株主還元について

2021年度の業績見通し（概要）

- 年間の業績見通しは前回の2021年度見通し（10月）より変更なし。
- 連結売上高は前年比+22.5%増収の2兆6,830億円。営業利益は前年比+68.5%増益の2,820億円。
- 配当金は1株当たり80円。

下期為替の前提　1ドル:107円、1ユーロ:126円、1 中国元:16.5円に見直し。

金額単位：億円	2020年度（A） ¥106.0/USD ¥123.4/EUR ¥15.6/RMB	2021年度（最新見通し）（B） ¥108.5/USD ¥128.6/EUR ¥16.8/RMB	2021年度（4月見通し） ¥105.0/USD ¥124.0/EUR ¥16.0/RMB	前年比（B）-（A）	
				増減	増減率
連結売上高	21,895	26,830	24,690	+4,934	+22.5%
営業利益	1,673	2,820	2,250	+1,146	+68.5%
売上高営業利益率	7.6%	10.5%	9.1%	+2.9ﾎﾟｲﾝﾄ	-
当社株主に帰属する当期純利益	1,062	1,870	1,460	+807	+76.0%
ROE	5.8%	9.6%	7.6%	+3.8ﾎﾟｲﾝﾄ	
1株当たり配当金（円）※	55円	80円	62円	+25円	
連結配当性向	48.9%	40.4%	40.1%		

※ 2020年度の1株当たり配当金には、当社創立100周年の記念配当10円を含む。

2021年度の各セグメント売上高と利益の見通し

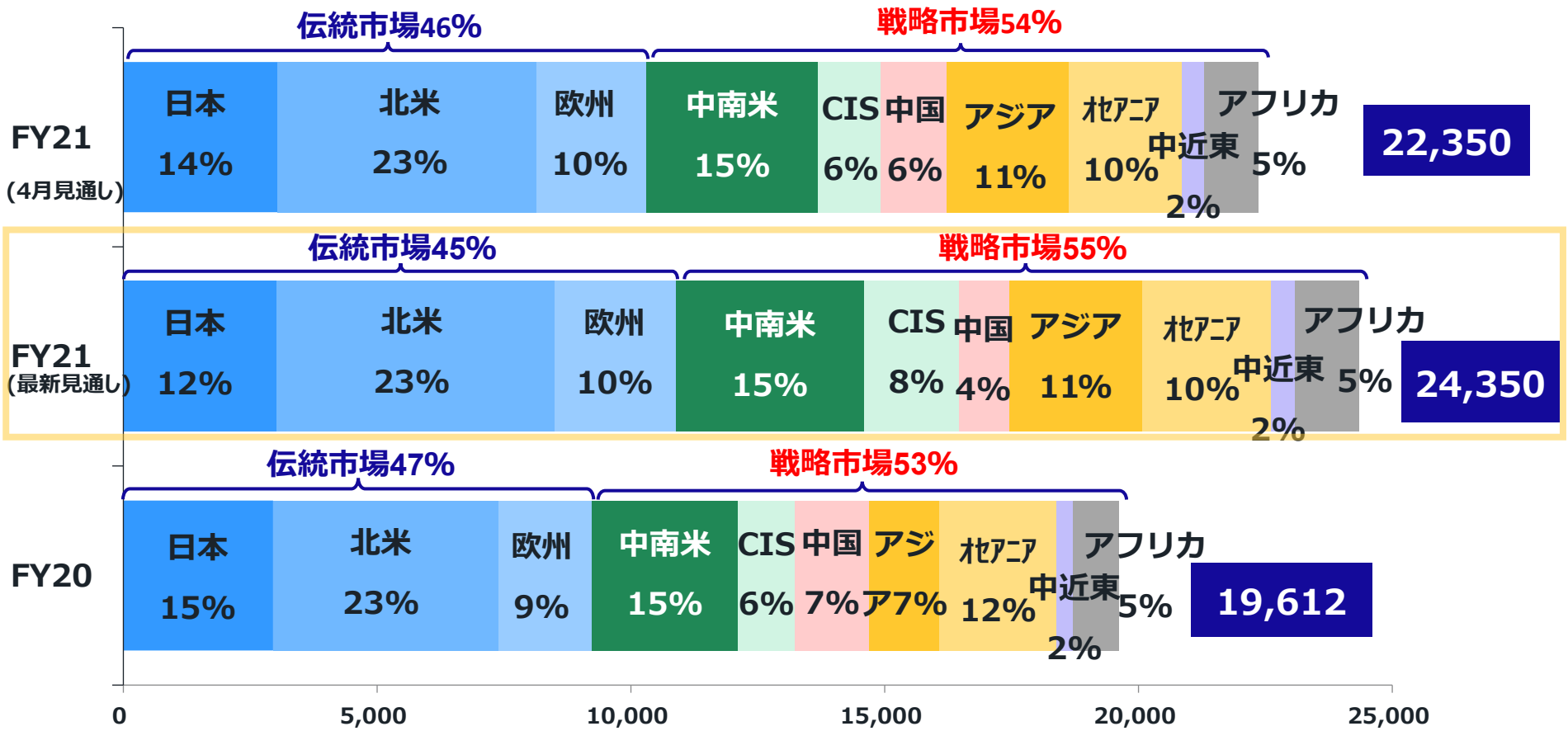
- 建設機械・車両部門の売上高は、2兆4,500億円。セグメント利益は2,490億円。
- リテールファイナンス部門の売上高は、700億円。セグメント利益は130億円。
- 産業機械他部門の売上高は、1,880億円。セグメント利益はの190億円。

[%]：利益率　(　)：外部顧客向け売上高

金額単位：億円	2020年度 (A)	2021年度 (最新見通し) (B)	2021年度 (4月見通し)	前年比（B）-（A） 増減	前年比（B）-（A） 増減率
売上高	21,895	26,830	24,690	+4,934	+22.5%
建設機械・車両	(19,612) 19,759	(24,350) 24,500	(22,350) 22,430	(+4,737) +4,740	(+24.2%) +24.0%
リテールファイナンス	(583) 663	(610) 700	(600) 680	(+26) +36	(+4.5%) +5.4%
産業機械他	(1,699) 1,712	(1,870) 1,880	(1,740) 1,750	(+170) +167	(+10.0%) +9.8%
消去	▲ 240	▲250	▲ 170	▲ 9	-
セグメント利益	[7.9%] 1,723	[10.5%] 2,820	[9.1%] 2,250	[+2.6ポイント] +1,096	+63.6%
建設機械・車両	[7.3%] 1,437	[10.2%] 2,490	[8.8%] 1,980	[+2.9ポイント] +1,052	+73.2%
リテールファイナンス	[15.9%] 105	[18.6%] 130	[17.6%] 120	[+2.7ポイント] +24	+22.9%
産業機械他	[9.5%] 163	[10.1%] 190	[9.7%] 170	[+0.6ポイント] +26	+16.3%
消去または全社	16	10	▲ 20	▲ 6	-

建設機械・車両＞2021年度地域別売上高（外部顧客向け）の見通し

- 外部顧客向け売上高は前年比+24.2%増収の2兆4,350億円。
- 中国を除くすべての地域で増加。



（金額単位：億円）

配当方針

- 当社は、持続的な企業価値の増大を目指し、健全な財務体質の構築と競争力強化に努めています。
- 配当金につきましては、連結業績に加え、将来の投資計画やキャッシュ・フローなどを総合的に勘案し、引き続き安定的な配当の継続に努めていく方針です。具体的には、**連結配当性向を40%以上**とする方針です。

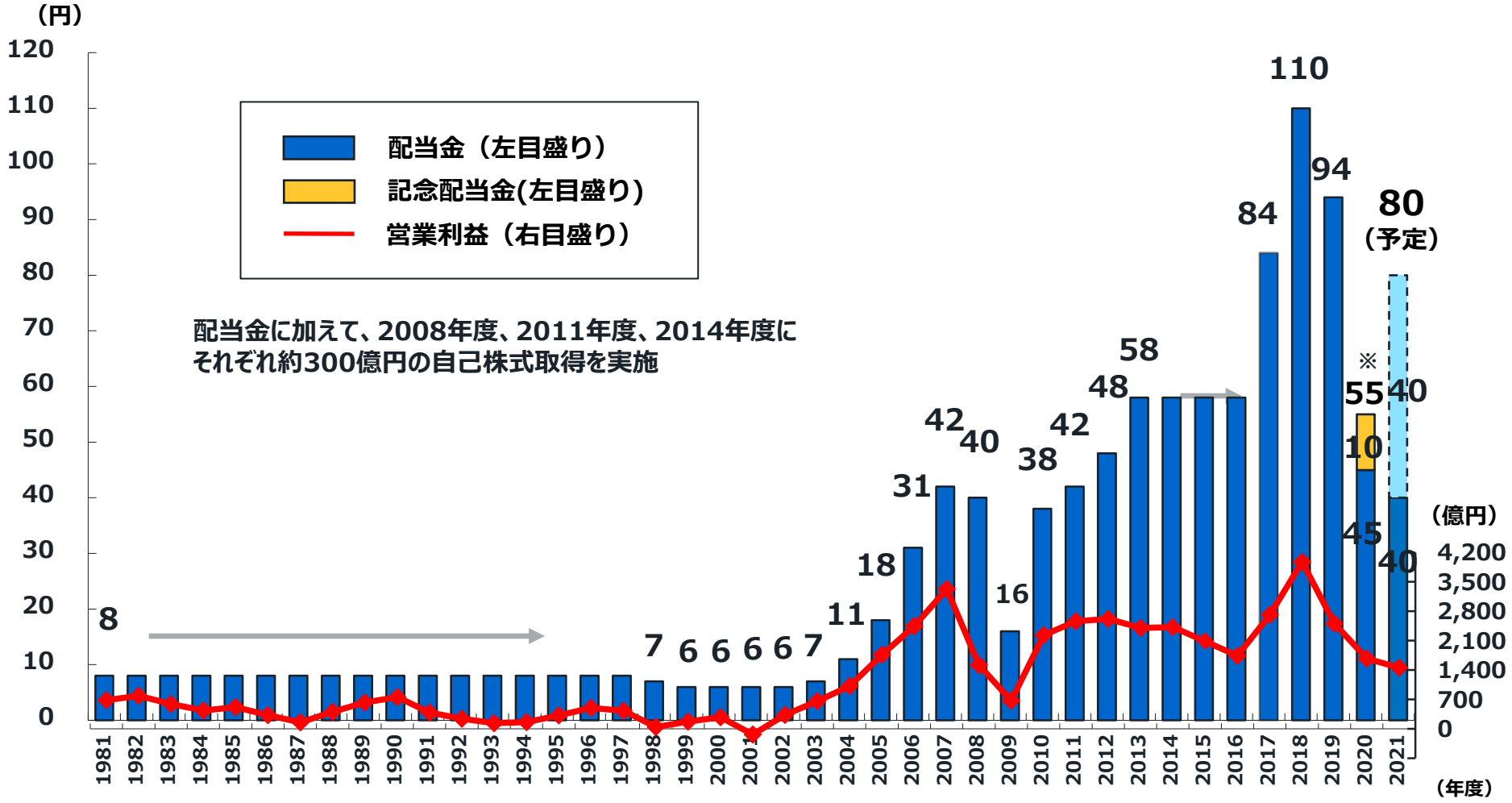
＜連結配当性向推移＞

	'05	'06	'07	'08	'09	'10	'11	'12	'13	'14	'15	'16	'17	'18	'19	'20	'21(予想)
配当方針		20%以上		20%～40%					30%～50%			40%～60%			40%～		
連結配当性向 [総還元性向]	16%	19%	20%	40%* [88%]	38%*	24%	24% [42%]	36%	35%	36% [55%]	40%	48%	40%	41%	58%	48.9% ※	40.4%

＊2008年度、2009年度は構造改革費用を除いたベース

※ 2020年度の1株当たり配当金には、当社創立100周年の記念配当10円を含む。

配当金の推移



※ 2020年度の1株当たり配当金には、当社創立100周年の記念配当10円を含む。

長期保有株主さまへの感謝品

➢ 当社株式を長期保有いただいている株主さまに感謝品を進呈（2014年7月より制度スタート)

■ コマツ製品のオリジナルミニチュア(非売品)を対象の株主さまに進呈。

■2021年度は当社が歩んできた道のりを振り返り、初期の機種、そして、これからの未来を目指してリリースした現代の機種、2機種を進呈。

※ 画像はイメージです

2021年度進呈
・G40 コマツ1型均土機
・PC30E-5 バッテリー駆動式ミニショベル

対象となる株主さま

基準日(毎年３月３１日)現在、当社株式の保有期間が**３年以上**(＊)保有し、

かつ**３単元(３００株)以上**を保有の株主さま

＊毎年3月31日および9月30日現在の株主名簿に、同一株主番号で、基準日を含めて7回以上連続して当社株式を保有していたと記載されている方

本日のまとめ

●2021年5月　創立100周年を迎えました

●コマツの強み

① 世界でバランスよくビジネス展開
② グローバル開発・生産体制（マザー工場制）

●成長戦略による収益向上とESG課題解決の好循環で持続的成長を目指す

① デジタルトランスフォーメーション推進
（機械の自動化・自律化と施工の最適化の両方で未来の現場を創造）
② 自動化・自律化、電動化、遠隔操作化の実現を加速（AHS、パートナーとの協業等）
③ 2050年までにカーボンニュートラルを目指すことを宣言

●業績および株主還元

① 2021年度業績見通し：増収増益
② 2021年度年間配当は、１株当たり80円、前期より25円増配予定

ご清聴ありがとうございました。

【業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項】
前述の将来に関する予想、計画、見通しなどは、現在入手可能な情報に基づき当社の経営者が合理的と判断したものです。実際の業績は様々な要因の変化により、本資料の予想、計画、見通しとは大きく異なることがありうることをあらかじめご理解ください。そのような要因としては、主要市場の経済状況および製品需要の変動、為替相場の変動、および国内外の各種規制ならびに会計基準・慣行等の変更などが考えられます。

コマツ　サステナビリティ推進本部コーポレートコミュニケーション部　TEL: 03-5561-4711　https://www.komatsu.jp/ja

動画上映：創立100周年記念ムービー「 Komatsu future 203X 」

―203X年、コマツのありたい姿を描き、次の100年に向かう―

参考資料

コーポレートアイデンティティー

コーポレートアイデンティティー

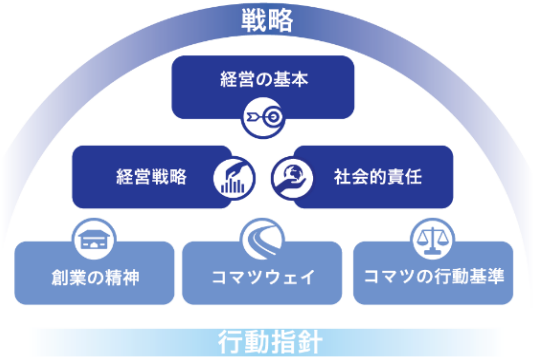
存在意義

ものづくりと技術の革新で新たな価値を創り、
人、社会、地球が共に栄える未来を切り拓く

価値観

挑戦する	やり抜く	共に創る	誠実に取り組む
高い志を持ち、失敗を恐れることなく、革新のために挑戦し続ける	困難にあっても決して諦めず、責任を持って最後までやり遂げる	多様な価値観や個性を認め合い、互いに敬意をもち、win-win精神で協働することで新たな価値を創出する	常に誠実に正しく行動し、信頼される存在であり続ける

戦略と行動指針



経営の基本

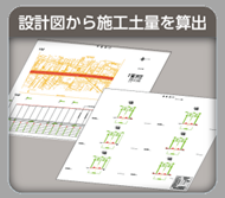
「品質と信頼性」を追求し、社会を含むすべての
ステークホルダーからの信頼度の総和を最大化する

スマートコンストラクション

起工測量	設計 施工計画	施工	検査納品

いままで

人手で測量



設計図から
土量算出

丁張りに合わせて施工

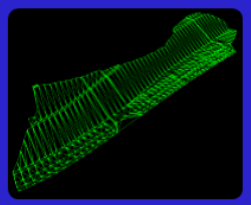
人手で測量
出来形管理

書類による
納品

2D　2D　2D　2D　2D

SMARTCONSTRUCTION

ドローンによる
３Ｄ測量



３Ｄ施工計画
シミュレーション

ICT建機とアプリで
３Ｄ施工・施工管理

ドローンによる
３Ｄ出来形検査

３Ｄデジタル　３Ｄデジタル　３Ｄデジタル　３Ｄデジタル　３Ｄデジタル

成長戦略３本柱によるESG課題の解決

CSR重点分野	成長戦略３本柱によるESG課題の解決	SDGs*との関係
生活を豊かにする -社会が求める商品を提供する-	・気候変動に対応した環境負荷低減や安全に配慮した高品質・高能率な商品・サービス・ソリューションの提供	産業技術革新 9 産業と技術革新の基盤をつくろう 持続可能都市 11 住み続けられるまちづくりを 気候変動 13 気候変動に具体的な対策を 協業 17 パートナーシップで目標を達成しよう
人を育てる	・多様な人材の育成 ・ダイバーシティ・グローバル人材の強化と育成	経済発展 8 働きがいも経済成長も
社会とともに発展する	・ステークホルダーとの協業による社会的課題の解決 ・責任ある企業行動	持続可能都市 11 住み続けられるまちづくりを 協業 17 パートナーシップで目標を達成しよう

本業を通じたESG課題解決

*SDGs：Sustainable Development Goals = 持続可能な開発目標
国際社会が2030年までに達成すべき17のゴールを定めたもの。2015年9月に国連で採択。各国政府・企業は実現の責任を負う。

生産拠点のカーボンニュートラル

①省エネ

- 徹底した生産性向上・高効率化によるエネルギー消費の縮減
- 次世代型高効率建屋への更新

②創エネ

- 最先端の再生可能エネルギー設備（太陽光、バイオマス等）を導入
- 高効率蓄電池による創エネ電力の有効活用

③再生エネ購入

- グリーン電力・LNGガス等のクレジットの購入

2050年カーボンニュートラル

超断熱を実現する
次世代溶解炉のイメージ

屋根一面に太陽光発電パネルを
設置したコマツフォレスト新工場
（2021年8月竣工、スウェーデン・ウメオ）

茨城工場のバイオマスボイラー

生産拠点のカーボンニュートラル：コマツフォレスト

- コマツの生産工場として初めてのカーボンニュートラル工場を竣工・生産を開始。
- 林業機械の開発・生産の中核工場の竣工により、林業ビジネスの更なる強化・拡大を図る。

生産品目	林業機械
投資額	約100億円
敷地面積 建屋面積	約133,000m2 約 40,000m2

太陽光発電の導入等で
カーボンニュートラル実現

工場集約と新技術導入により
生産性30%向上

【新工場のCO_2推移（想定見通し）】

日照時間の長い夏は売電
日照時間の短い冬はグリーンエネルギー購入

*夏至の日照時間は約20時間
*冬至の日照時間は約4時間

【生産性向上】

モノの改善とコトの改善による2つのCO2排出量削減へのアプローチ

レベル５
施工の最適化

レベル４
施工計画の自動化

レベル３
施工計画の3D化

レベル２
地形データの3D化

レベル１
設計データの3D化

コト【現場の全業務の効率化レベル】

現場全体の業務の
賢い計画・指示・管理

地道な燃費向上
ハイブリット回生
スマートコンストラクション

ハイブリット

スマコン

カーボンニュートラルから
カーボンネガティブへ

- モノ：ダントツの環境性能と生産性
- コト：現場全体のオペレーションを最適化

エネルギー効率の良い機械
カーボン排出の少ない機械

モノ【機械の効率化/低排出カーボン化レベル】

従来施工

レベル１
内燃機関

レベル２
エネルギー回生

レベル３
水素混焼
エネ回生

レベル４
フル電動
有線/電池

レベル５
燃料電池

モノの改善とコトの改善による2つのアプローチ

製品（モノ） × **ソリューション（コト）**

■ 電動化

➢ **機種・クラス・地域別にアプローチ**

バッテリー電動

フル電動

パワーアグノス
ティックトラック

■ 燃費性能向上

➢ **ハイブリッド車　22%改善**
(対従来標準機PC300-10比)

➢ **低燃費車の市場導入**
(モデルチェンジでの改善)

HB335-3

WA380-8

■ スマートコンストラクションによる施工の効率向上

■ Komtraxによる低燃費運転の提案

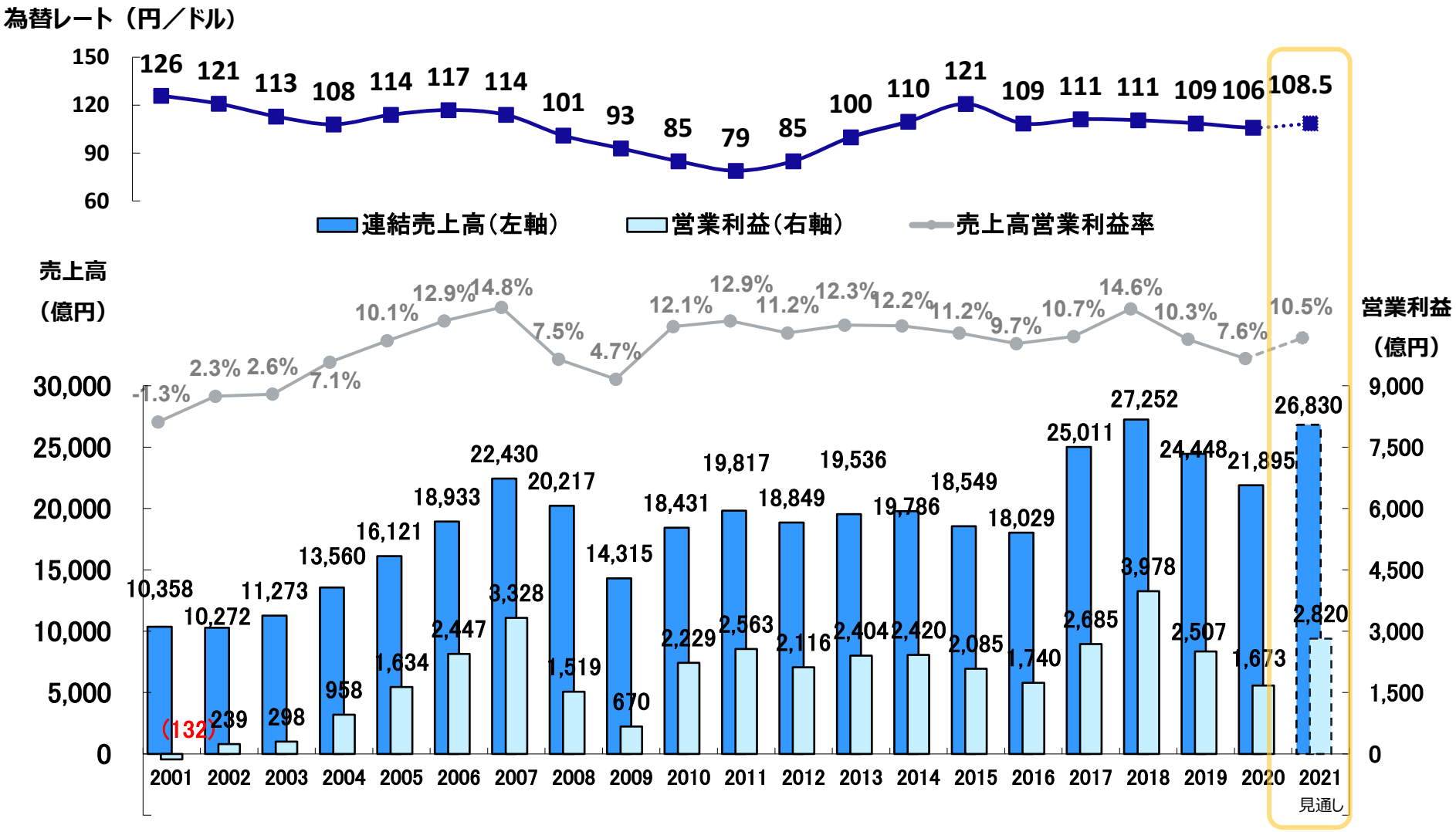
■ 無人ダンプトラック運行システム（AHS）

■ 循環ビジネスによるCO２削減貢献

➢ 林業機械やシステムによる林業の管理効率化の提案
➢ リマン事業による資源の節約、廃棄物の削減

製品・ソリューションの改善を通じて社会課題の解決に貢献
＝収益向上とESG課題解決の好循環による持続的成長

年間業績推移


為替レート（円／ドル）
150
120
90
60
126 121 113 108 114 117 114 101 93 85 79 85 100 110 121 109 111 111 109 106 108.5
連結売上高（左軸）
営業利益（右軸）
売上高営業利益率
売上高
（億円）
営業利益
（億円）
30,000
25,000
20,000
15,000
10,000
5,000
0
9,000
7,500
6,000
4,500
3,000
1,500
0
-1.3% 2.3% 2.6% 7.1% 10.1% 12.9% 14.8% 7.5% 4.7% 12.1% 12.9% 11.2% 12.3% 12.2% 11.2% 9.7% 10.7% 14.6% 10.3% 7.6% 10.5%
10,358 10,272 11,273 13,560 16,121 18,933 22,430 20,217 14,315 18,431 19,817 18,849 19,536 19,786 18,549 18,029 25,011 27,252 24,448 21,895 26,830
(132) 239 298 958 1,634 2,447 3,328 1,519 670 2,229 2,563 2,116 2,404 2,420 2,085 1,740 2,685 3,978 2,507 1,673 2,820
2001 2002 2003 2004 2005 2006 2007 2008 2009 2010 2011 2012 2013 2014 2015 2016 2017 2018 2019 2020 2021
見通し

中期経営計画の経営目標進捗状況

	経営目標		年度	2019年度	2020年度	2021年度
			指標	実績	実績	見通し
成長性	• 業界水準を超える成長率		売上高成長率	▲10.3%	▲10.4%	22.5%
収益性	• 業界トップレベルの営業利益率		営業利益率	10.3%	7.6%	10.5%
効率性	• ROE 10%以上		ROE	8.6%	5.8%	9.6%
健全性	• 業界トップレベルの財務体質		ﾈｯﾄD/Eﾚｼｵ	0.43	0.35	0.27
株主還元	• 成長への投資を主体としながら、株主還元(自社株買いを含む)とのバランスをとる • 連結配当性向を40%以上とする		連結配当性向	57.7%	48.9%	40.4%
ESG	・環境負荷低減 CO2排出削減：2030年50%減(2010年比) 再生可能エネルギー使用率：2030年50%	製品使用によるCO2削減	環境負荷低減 外部評価	▲14%	▲14%	▲16%※
		生産によるCO2削減		▲32%	▲33%	▲40%※
		再生可能エネルギー使用率		11%	13%	15%※
	・外部評価	DJSI選定 （ワールド、アジアパシフィック）		DJSI選定	DJSI選定	DJSI選定
		CDP Aリスト選定（気候変動、水リスク）		CDP気候変動 評価 A CDP水リスク 評価 A-	CDP気候変動 評価 A CDP水リスク 評価 A	CDP気候変動 評価 A CDP水リスク 評価 A
リテールファイナンス事業	• ＲＯＡ 1.5% - 2.0%		ROA	1.5%	1.2%	1.5%
	• ネットD/Eレシオ 5倍以下		ﾈｯﾄD/Eﾚｼｵ	3.80	3.69	3.79

※2021年度計画値

2021年度 第3四半期（4-12月）の概況

- 連結売上高は前年同期比+33.1%増収の2兆146億円。
- 営業利益は前年同期比+108.1%増益の2,237億円、売上高営業利益率は+4.0ポイント上昇し11.1%。
- 純利益は前年同期比+135.7%増益の1,555億円。

金額単位：億円	2020年4-12月 ¥106.4/USD ¥122.1/EUR ¥15.4/RMB	2021年4-12月 ¥111.0/USD ¥130.6/EUR ¥17.2/RMB	前年同期比	
			増減	増減率
連結売上高	15,133	20,146	+5,013	+33.1%
セグメント利益	1,082	2,205	+1,123	+103.8%
その他の営業収益（▲費用）	▲ 6	32	+38	-
営業利益	1,075	2,237	+1,162	+108.1%
売上高営業利益率	7.1%	11.1%	+4.0ﾎﾟｲﾝﾄ	-
その他の収益（▲費用）	▲ 41	5	+47	-
税引前純利益	1,033	2,243	+1,209	+117.0%
当社株主に帰属する当期純利益	659	1,555	+895	+135.7%

2021年度 第3四半期（4-12月）の各セグメント売上高と利益

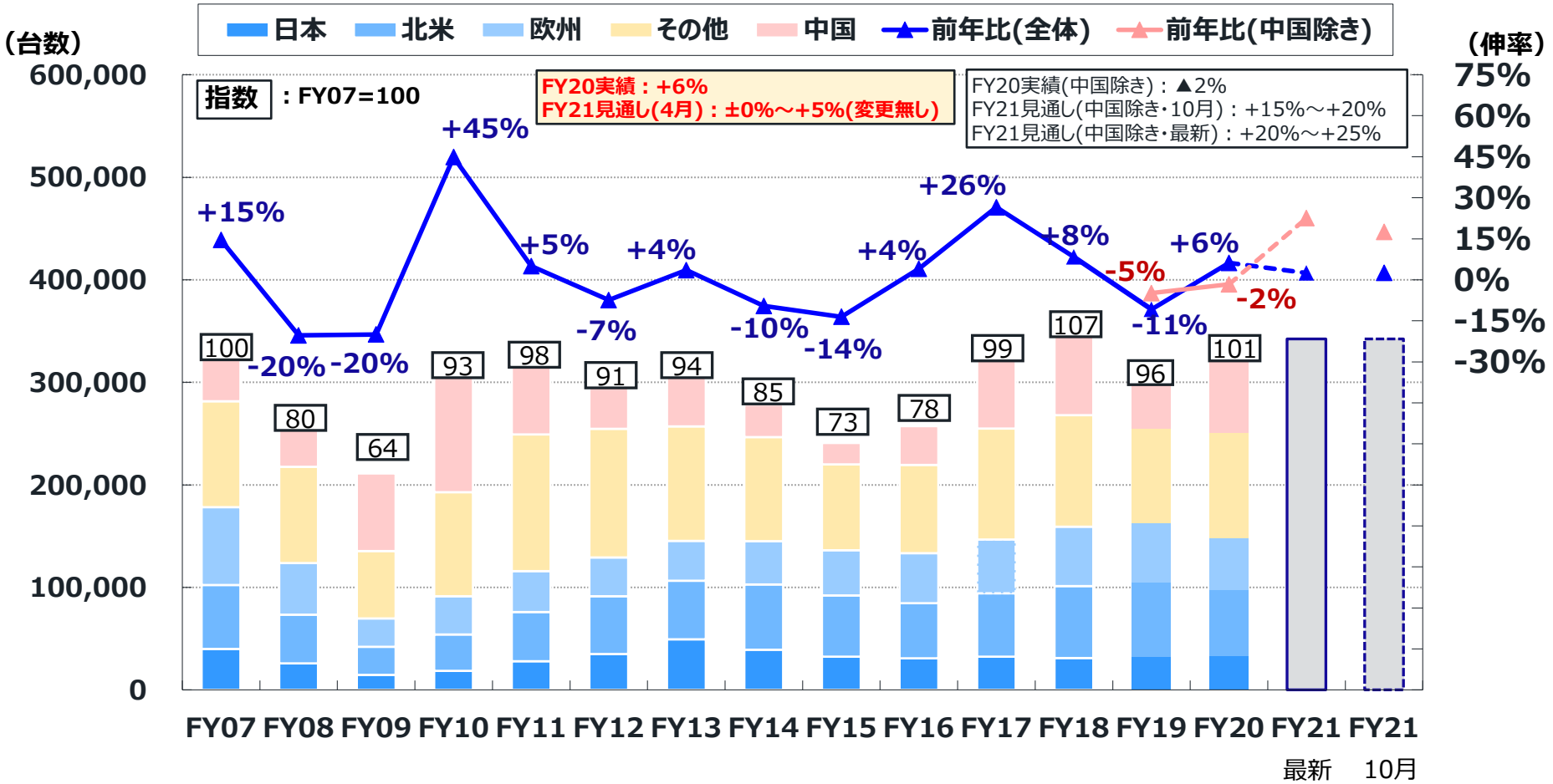
- 建設機械・車両部門の売上高は、前年同期比+33.6%増収の1兆8,455億円。
  セグメント利益は前年同期比+113.3%増益の1,918億円。セグメント利益率は+3.9ポイント上昇し10.4%。
- リテールファイナンス部門の売上高は、前年同期比+10.2%増収の545億円。
  セグメント利益は前年同期比+62.5%増益の132億円。
- 産業機械他部門の売上高は、前年同期比+29.3%増収の1,318億円。
  セグメント利益は前年同期比+67.8%増益の150億円。

[%]：利益率　（　）：外部顧客向け売上高

金額単位：億円	2020年4-12月		2021年4-12月		前年同期比			
					増減		増減率	
売上高		15,133		20,146		+5,013		+33.1%
建設機械・車両	(13,684)	13,817	(18,406)	18,455	(+4,722)	+4,637	(+34.5%)	+33.6%
リテールファイナンス	(436)	495	(435)	545	(▲ 1)	+50	(▲0.3%)	+10.2%
産業機械他	(1,012)	1,020	(1,304)	1,318	(+292)	+298	(+28.9%)	+29.3%
消去		▲ 199		▲ 172		+26		-
セグメント利益	7.2%	1,082	10.9%	2,205	+3.7ポイント	+1,123		+103.8%
建設機械・車両	6.5%	899	10.4%	1,918	+3.9ポイント	+1,019		+113.3%
リテールファイナンス	16.5%	81	24.3%	132	+7.8ポイント	+51		+62.5%
産業機械他	8.8%	89	11.4%	150	+2.6ポイント	+60		+67.8%
消去または全社		10		3		▲ 7		-

＜建設機械・車両＞主要7建機の需要推移と見通し

- 2021年度第3四半期の需要は、前年同期並み。中国を除く地域では前年同期比+17%の増加。
- 2021年度の需要は、前年比±0%～+5%の見通し（4月見通しから変更無し）。
- 中国を除く地域では前年比+20%～+25%へ見直し。10月見通しに対し、最新の状況を織り込み。



【出所】 主要7建機需要：コマツの推定

コマツへの外部評価

コマツへの外部評価	**ダウ・ジョーンズ・サステナビリティ・インディシーズ・ワールドインデックス (DJSI)*** **<u>2021年も選定</u>** Member of Dow Jones Sustainability Indices Powered by the S&P Global CSA (世界約2,500社中322社：うち日本企業35社)	**CDP**** **<u>2021年もAリスト企業と認定</u>** **・気候変動対策** **・水セキュリティ対策** CDP DISCLOSURE INSIGHT ACTION A LIST 2021 CLIMATE WATER

*DJSI：米国S＆Pダウ・ジョーンズ社とスイスのロベコ・サム社によるSRI指標
**CDP：企業や政府が温室効果ガス排出量を削減し、水資源や森林を保護することを推進する国際的な非営利団体

その他の外部評価

日経Smart Work大賞
2019審査委員特別賞

東京証券取引所
「企業価値向上表彰」
大賞

2020年度
IR優良企業賞

デジタルトランス
フォーメーション(DX)
銘柄選定

SBT(Science
Based Targets)
認定

S&P/JPX カーボン・
エフィシェント指数
構成銘柄

MSCI Global
Sustainability
Indexes選定

ISS-Oekom
Machinery業界
Prime認定

EURONEXT
Vigeo EIRIS
選定

FTSE Blossom
Japan Index
選定

2021 CONSTITUENT MSCIジャパン
ESGセレクト・リーダーズ指数

MSCIジャパン
ESGセレクト・リーダーズ指数
選定

2021 CONSTITUENT MSCI日本株
女性活躍指数 (WIN)

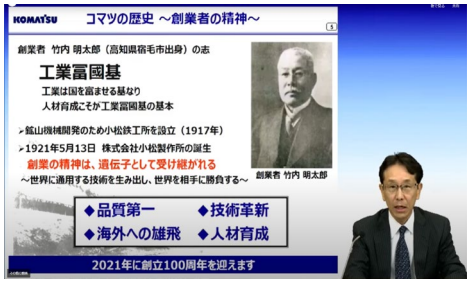
MSCI日本株女性活躍指数
選定

コマツの株価推移

2002年3月末からの株価変化率　（各月の終値ベース）

個人投資家・株主さまとのコミュニケーション

株主さま向け会社説明会
＜20・21年度はオンライン開催＞



施設見学会の積極開催
＜20年度はYouTube公式アカウントに工場見学会動画掲載＞

個人投資家向け説明会
＜20・21年度はオンライン開催＞

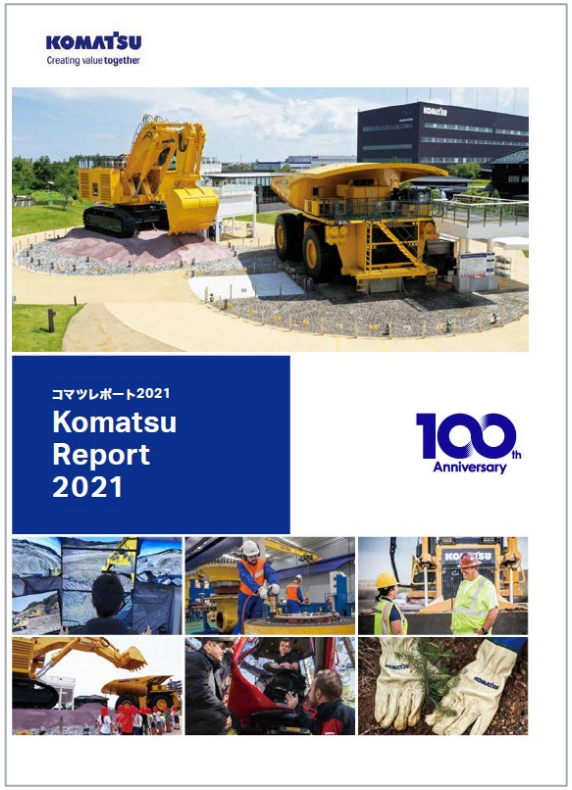
社長のインタビューをウェブサイトに掲示(４回/年)
コマツの強みや今後の見通し、中期経営計画について動画配信

中間報告書
直近の事業状況やイベントをご紹介（郵送）

統合報告書「コマツレポート」発行

コマツの価値創造モデル 「成長戦略による収益向上とESG課題解決の好循環」
中期経営計画の成長戦略とESG(CSR・環境・ガバナンス)のKPI、環境、社会、ガバナンスの取り組みを説明

本業(事業活動そのもの)と、環境・CSRの要素を一体で説明することが必要
→投資家の皆さまに対し、中長期な視野から企業価値向上の取り組みをご説明することを目的として、作成・開示。



【2021年度版】 2021年9月発行

- ◆社長メッセージ （次の100年へ向けた経営課題と経営戦略)
- ◆CFOメッセージ（財務戦略）
- ◆コマツ100年のアイデンティティー
- ◆未来の現場をともにつくるビジネスモデルの進化
- ◆成長戦略によるESGの課題解決（KPI、ガバナンス、リスクマネジメント）

https://www.komatsu.jp/ja/ir/library/annual